

まるカン2023

ひっかけ
問題

看護の統合と実践

1 採血後に針刺し事故を起こした時に最初にとるべき行動はどれか。

[第 93 回 午前 46 問]

1. 石けんと流水で針刺し部位を洗浄する。
2. 採取した血液の感染症を確認する。
3. 針刺し部位を消毒液に浸す。
4. 直ちに抗 HIV 薬を内服する。

医療行為を行う限り、針刺し事故をはじめとする体液への曝露事故を完全に回避することは不可能である。万が一、針刺し事故を起こした場合は、針刺し部位を多量の流水と石けんで洗浄することが重要である。

【答え 1】

2 医療における安全管理のシステム設計の原則で正しいのはどれか。

[第 104 回 午後 72 問]

1. 個人の反省を促す。
2. 人の記憶力を重視する。
3. 作業のプロセスを標準化する。
4. いくつかの業務を同時に実施する。

医療事故は、患者の健康回復、増進のために医療を提供するプロセスの中で、誤った行為をしたことで生じる。医療における安全管理のシステムの原則は、人間は間違えるということを前提にしたシステム設計と、不測の事態への対応などである。【答え 3】

3 動脈性外出血の止血帯を用いた間接圧迫法について適切なのはどれか。

[第 103 回 午前 46 問]

1. 圧迫開始時刻を記載する。
2. 幅が 1cm の止血帯を用いる。
3. 動脈圧より低い圧を加える。
4. 圧迫は 2 時間に 1 回緩める。

間接圧迫法は、出血部位に近い中枢側（心臓に近い部位）の動脈（上腕動脈など）を指で圧迫して止血する。動脈性の出血や、直接圧迫止血法の実施が難しい場合に行われる。長時間止血を行うと、麻痺や神経障害、血流遮断による壊死が生じる可能性があるため、実施する際は圧迫開始時間を記録する。そのほか、2 では、細い止血帯で強く締めすぎると筋肉、神経、血管などを損傷する可能性がある。3 では、動脈圧より高い圧を加える。4 では、30～45 分に 1 回は圧迫を緩めるようにする。【答え 1】

4 災害時において最も優先して治療を行うのはどれか。

[第 101 回 午後 49 問]

1. 胸髄以下の脊髄損傷
2. 四肢の単純骨折
3. 過換気症候群
4. 気道熱傷

気道熱傷は、火災などによって高温の煙や水蒸気、有毒ガスを吸い込んで生じる。症状として、顔面の熱傷のほか、鼻毛の焦げ、すすの混ざった痰、嘔声、意識障害などがある。受傷直後は重篤な症状がなくても、時間の経過とともに気道に浮腫が生じて閉塞し、呼吸が停止する可能性があるため、最も優先して治療を行う。トリアージの区分は赤（最優先治療群）である。【答え 4】

5 Aさんは、来日して1年になる外国人で、胃潰瘍による吐血のため一般病棟に入院した。Aさんが入院した知らせを受けて、Aさんの家族が来日し、病棟に見舞いに来た。家族は、Aさんの身の回りの世話を泊まり込みで行うために私物を大量に持ち込んだ。看護師の対応として最も適切なのはどれか。

[第 103 回 追試 午後 78 問]

1. 日本では家族の泊まり込みはできないと断る。
2. Aさんと家族が納得できる解決策を話し合う。
3. 希望通りAさんの病室に泊まることを許可する。
4. 近隣のホテルに泊まって、日中のみ通うよう勧める。

許可のない泊まり込みでの世話はできないこと、他の患者に迷惑がかかるような私物の持ち込みはできないことなどの病院のルールを伝えた上で、文化的背景に配慮し、Aさんと家族が納得できるように話し合う必要がある。【答え 2】